

【要旨】本稿では蘭銀官話“V 给”構文の多機能性に着目し、特に与害用法の存在を新たに指摘する。北京官話には、“我卖给他一斤水果”「私は彼に 500 グラムの果物を売った」のような“V 给”構文がある。これを蘭銀官話では“我给他卖给一斤水果”で表し、前置詞の“给”は文法的に必須要素となる。即ち、北京官話の間接目的語は蘭銀官話の前置詞“给”の目的語に対応する。本稿の結論として、蘭銀官話の“V 给”は与害の用法を備えることに加え、結果補語と方向補語の役割を持つと主張する。さらに、受動、完了と経験を表すことができ、動詞反復文でも現れるという多機能性を示す。

## 1. はじめに

蘭州方言の前置詞“给”は北京官話の“跟、和、为、替”などに相当し、さらに、例文 (1)(2) の“给给”のように、前項動詞 V と結びつき、一つのまとまりになる。例文 (1) の前置詞“给”の後ろに被授与者と授与物がなくても成立する。例文 (2) の“给给”は、「動詞+補助動詞」という形で、授受補助動詞 V<sub>2</sub> “给”「与える」が V<sub>1</sub> “给”「与える」に後接して構成する。なお、朱徳熙 (1983: 161) によれば、“我给他一本书”の“给给”は独立して存在するが、北京官話で 1 つの“给”になったとされる。

(1) 你 赶紧 给 给-给 吵!

(2SG 早く PREP 与える-与える 感嘆詞)

「早く誰かに何かを渡せ!」(北京官話:你赶紧把某物给某人!)

(2) 我 给 她 给-给 一 杯 水。

(1SG PREP 3SG 与える-与える 一 CL 水)

「私は彼女に水を渡した」(北京官話:我给她了一杯水。)

## 2. 先行研究と問題点

“V 给”構文は蘭州方言以外に、甘肅民勤方言(袁衛華・肖雁雲 2019)、寧夏平羅方言(張婷・陳保璽 2018)、陝西戸县方言(孫立新 2007)、河南羅山方言(王東 2008)、山西平定方言(延俊榮 2006)にも現れる。先行研究では、語用論から蘭州方言の“V 给”に着目するものが多い。例えば、李炜 (1978: 122) では、北京官話は前置詞“跟”“和”“同”“对”“向”“为”“替”などを用いて表す場合が多いが、蘭州方言は前置詞“给”で表す。即ち、蘭州方言の前置詞“给”は北京官話より使用範囲が広いと述べている。さ

\* 本発表の内容に関して江畑冬生、干野真一の各氏から有益なアドバイスをいただいた(敬称略)。ここに深く感謝を述べる。むろん誤りはすべて発表者の責任である。本発表の資料としては、中国甘肅省蘭州市出身の 20 代男性を主として、さらに甘肅省白銀市出身の 20 代男性を補助として発表者が聞き取り調査によって得たものを用いた。

らに、李炜 (1978: 124) によれば、北京官話の V は授与の意味を含めると“V 给”構文で現れるが、蘭州方言は例文 (3)(4) のように、北京官話の“V 给”構文で表さない V も使える。

(3) 他 给 我 抢-给 了 几 张 电影票。

(3SG PREP 1SG 奪う-与える 了<sub>1</sub> いくつ CL 映画館の入場券)

「彼は私に何枚の映画館の入場券を争って買ってきてくれた」(北京官話:他抢了几张电影票给我)

(李炜 1978: 124 例 (4) グロスは筆者による加筆)

(4) 他 妈 给 他 娶-给 了 一 个 媳妇。

(3SG 母 PREP 3SG 娶る-与える 了<sub>1</sub> 一 CL 妻)

「彼の母親は彼に妻を娶ってあげた」(北京官話:他妈妈娶了个媳妇给他)

(李炜 1978: 124 例 (5) グロスは筆者による加筆)

王森・王毅(2003: 411)では、蘭州方言の“V 给”は連動文で、V は手段で、“给”は目的であると指摘している。賈瑩 (2013) では、蘭州方言の“V 给”の文法化に注目し、V と“给”の間に助詞“了”、“过”を挿入できないと主張している。これに対し本稿では V 给の文法標識としての多機能性に着目し、与害用法を含めて 7 点の用法があることを示す。

### 3. 北京官話の“V 给”との違い

北京官話の“V 给”構文の形は主に 2 つに分けられる。1 つは、“给”が前置詞となり、V<sub>1</sub>の後ろに後置するというような形である(張国憲 (2005)。もう 1 つは、“V 给”を 1 つのまとまりとして目的語がつく(丸尾 (2010)や邵敬敏 (2009))。

まず、被授与者の位置に関しては、北京官話は例文 (5) のように、被授与者は“V 给”の後ろに置く。が、蘭銀官話は例文 (6) のように、被授与者は前置詞“给”の後ろに来て、“V 给”の前に置く。さらに、例文 (7)(8) のように、被授与者がなくても文が成立する。

(5) 我 送-给 她 一 束 花。

(1SG 贈る-与える 3SG 一 CL 花)

「私は彼女に花束を贈った」

(6) 我 给 她 送-给 一 束 花。

(1SG PREP 3SG 贈る-与える 一 CL 花)

「私は彼女に花束を贈った」

(7) 他 要 的 书 我 买-给 了。

(3SG 要る DEM 本 1SG 買う-与える 了 1+2)

「彼が欲しかった本は買ってあげた」(北京官話:他要的书我买给他了。)

(8) 儿子 的 新房 盖-给 了。

(息子 DEM 新築の家屋 建てる-与える 了 1+2)

「息子に新しい家を建てた」(北京官話:给儿子盖了新房了。)

(王森・王毅 2003: 411 例(14) グロスは筆者による加筆)

さらに、授与者は文法的に必須要素ではない(例文 9)が、例文 (10)(11) の被授与者は必須の場合とそうではない場合がある。

(9) 那 要 的 东西 我 买-给 了。

(2SG 要る GEN もの 1SG 買う-与える 了 1+2)

「欲しいものを買ってあげた」(北京官話:你要的东西我买给你了)

(10) 这 件 事 我 就 给 你 靠-给 了。

(DEM CL こと 1SG 副詞 PREP 2SG 頼む-与える 了 1+2)

「この件では、あなたを頼りにしているよ」(北京官話:这件事我就靠你了)

(11) 我 给-给 了 一 百 块。

(1SG 与える-与える 了 1 百元)

「私は(誰かに)百元をあげた」(北京官話:我给(谁)了一百块。)

そして、否定の場合に関しては、北京官話は例文 (12) のように、否定を表す“不”は“V 给”の前に置く。これに対し、蘭銀官話の否定詞は例文 (13) のように、前置詞“V 给”に置かず、被授与者「彼女」と“V 给”の真ん中に来る。さらに、主題を表す北京官話の否定文は例文 (14) のように示すが、蘭銀官話では例文 (15) のように、“把”構文を用いて被授与者と“V 给”の間に置く。

(12) 他 不 送-给 她 一 束 花。

(3SG NEG 贈る-与える 3SG 一 CL 花)

「彼は彼女に花束を贈らない」

(13) 他 给 她 不 送-给 一 束 花。

(3SG PREP 3SG NEG 贈る-与える 一 CL 花)

「彼は彼女に花束を贈らない」

(14) 花 他 不 送-给 她。

(花 3SG NEG 贈る-与える 3SG)

「花束は彼が彼女に贈らない」

(15) 他 把 花 给 她 不 送-给。

(3SG PREP 花 PREP 3SG NEG 贈る-与える)

「彼は彼女に花束を贈らない」

3 節では、蘭銀官話の“给”が北京官話とは被授与者の位置、授与者が文法的に必須要素かどうか、否定詞の位置という点で異なることを指摘した。

#### 4. 蘭銀官話“V 给”構文の多機能性

本節では、蘭銀官話“V 给”構文の多機能性を考察し、特に与害用法、結果補語と方向補語の役割を持つと主張する。さらに、受動、完了と経験を表すことができ、動詞反復文でも現れる。

##### 4.1 与害(malefactive)

“把”構文の中で表れ、“V 给”の前には被影響者が置かれる。なお、“给”は不如意を表し、已然しか表さない。さらに、例文 (16)(17) のように、結果補語は“坏”「めっぼう」、「哑」「ひどく」という程度を表す形容詞に限られる。

(16) 今天 可 把 人 给 冻坏-给 了。

(今日 まったく PREP 私 PREP 凍ってだめになる-与える 了 1+2)

「今日は寒くてたまらなかった」(北京官話: 今天可把人给冻坏了)

(17) 你们 可 把 人 找哑-给 了。

(2PL まったく PREP 私 探す-与える 了 1+2)

「あなたたちをずいぶん探していたんだ」(北京官話: 你们可让人找死了)

##### 4.2 受動

蘭銀官話は例文 (18)(19) のように、受動文を表すことができる。例文 (18) の動作主は“老天爷”「神様」であり、例文 (19) は動作主がなくても文が成立する。

(18) 今年 的 麦子 讨-给 了。

(今年 GEN 小麦 ねだる-与える 了 1+2)

「今年の小麦は、神様が私たちにおねだりしたものだ」

(北京官話: 今年的小麦被老天爷讨给我们了)(王森・王毅 2003: 415 例(63) グロスは筆者による加筆)

(19) 这 娃 天天 打-给 骂-给。

(DEM 子 毎日 殴る-与える 叱る-与える)

「この子、毎日殴られ、叱られている」(北京官話: 这孩子天天被打打骂骂)

#### 4.3 結果補語や方向補語

例文 (20)(21) のように、“给”は結果補語や方向補語の役割を果たす。結果補語よりも“V 给”構文の方は容認度が高い。

(20) 这 娃 比 去年 高-给 了 一截子。

(DEM 子 …に比べて 去年 高くなる-与える 了 1 区切り)

「この子は一昨年より身長がグンと伸びている」(北京官話: 这孩子比前年高出了很多)(張安生 1993)

(21) 我 给 他 把 电话 打-给 了,

(1SG PREP 3SG PREP 電話 かける-与える 了 1+2

待会儿 再 给 家里 打-给。

少しあと また PREP 家 かける-与える)

「彼に電話をかけたが、後で家にいる人に電話する」

(北京官話: 我给他打电话了, 待会儿再给家里打回去)

#### 4.4 完了や経験

蘭銀官話において“V 给”の“给”は例文 (22) のように完了助詞“了”の役割を果たし、例文 (23) の経験を表す“过”にも相当する。

(22) 我 喝-给 好几杯 了。

(1SG 飲む-与える 数杯 了 1+2)

「数杯飲んでしまった」(北京官話: 我喝了好几杯了)

(23) 银川 你 去-给 了 几 次?

(银川 2SG 行く-与える 了 1 何 CL)

「银川は何回行ったことがある」(北京官話: 银川你去过几次)

#### 4.5 動詞反復文

蘭銀方言では、例文 (24) のように、動詞反復文で現れる。“吃给喝给”は北京官話における“吃吃喝喝”の意味合いを含む。

- (24) 从 早 到 晚 就 知道 吃-给 喝-给。  
 (から 朝 まで 晩 副詞 分かる 食べる-与える 飲む-与える)  
 「朝から晩まで食って飲んでばかり」(北京官話:从早到晚就知道吃吃喝喝)

#### 4.6 $V_1$ と $V_2$ の間の時間的順次性の有無

$V_1$ と $V_2$ の間に時間的順次性の有無のある場合(25)とない場合(26)がある。例文(25)では、 $V_1$ “輸”「負ける」と $V_2$ “给”「与える」という動作の発生には時間の差がある。が、例文(26)では、 $V_1$ “生”「産む」と $V_2$ “给”の間に時間的順次性がない。なお、主語が無生物である場合、蘭銀方言では例文(27)(28)のように、“V给”構文を作ることができる。

- (25) 我 给 那 输-给 了 一百块。

(1SG PREP 3SG 負ける-与える 了1 百元)

「私は彼に100元負けた」(北京官話:我输给了他一百块。)

- (26) 那们 的 猪 给 那们 生-给 几 个 崽。

(3PL GEN 豚 PREP 3PL 産む-与える 何 CL 子豚)

「彼らの豚は何匹の子豚を産んだ」(北京官話:他们的猪给他们生了几个猪崽)

- (27) 雷 闪-给 了 一 下。

(雷 ぴかっと光る-与える 了1 一 動量詞)

「雷が少しぴかっと光った」

- (28) 灯泡子 亮-给 了 一 下。

(電球 光る-与える 了1 一 動量詞)

「電球は一瞬明かりがついた」(賈瑩 2013: 87 例(17) グロスは筆者による加筆)

## 5. まとめ

本稿の結論として、蘭銀官話の“V给”の一番の特徴は与害の用法であり、他の多機能性も備える。例えば、結果補語と方向補語の役割を持つと主張する。さらに、受動、完了と経験を表すことができ、動詞反復文でも現れる。さらに、 $V_1$ と $V_2$ の間に時間的順次性の有無のある場合とない場合がある。

### 略語

CL: 助数詞、DEM: 指示詞、GEN: “的”「の」、NEG: 否定、PL: 複数、PREP: 前置詞、SG: 単数、V: 述語動詞、了1: 動詞の後に置き、動作行為の完成或いは実現を表す、了2: 事柄の完成や新しい事態の発生

を確認する働きをする、了<sub>1+2</sub>:ある動作Vを行った状態に今なっているというような状況を表す

## 参考文献

- 丸尾 誠 (2010) 『基礎から発展まで よくわかる中国語文法』アスク出版.
- 延 俊栄 (2006) 《山西平定方言“给给”の使用条件》「山西平定方言“给给”の使用条件」《语文研究》第3期. 64-65.
- 袁 衛華・肖 雁雲 (2019) 《甘肃民勤方言的“给”字句研究》「甘肅民勤方言の“给”構文研究」《宁夏大学学报(人文社会科学版)》(41)5.55-64.
- 王 森・王 毅 (2003) 《兰州话的“V+给”句—兼及甘宁青新方言的相关句式》「蘭州方言の“V+给”文—及び甘肅寧夏青海新疆の関連構文」《中国语文》第5期. 410-418.
- 王 東 (2008) 《河南罗山方言的“给给”》「河南羅山方言の“给给”」《语文研究》第2期. 58-61.
- 賈 瑩 (2013) 《兰州方言“V给<sub>3</sub>”结构性质讨论》「蘭州方言の“V给<sub>3</sub>”構造の性質を論じる」《西北语言与文化研究(第一辑)》第2期. 84-90.
- 邵 敬敏 (2009) 《从“V给”句式的类化看语义的决定性原则》(「“V给”構文の分類から見た語彙の決定的な原則」)《语言教学与研究》第6期.1-8.
- 孫 立新 (2007) 《户县方言的“给”字句》「戸县方言の“给”構文」《南开语言学刊》第1期.79-87.
- 張 安生 (1993) 《宁夏同心(回民)方言的语法特点》「寧夏同心(回族)方言の文法特徴」《宁夏社会科学》第6期.
- 張 国憲 (2005) 《双宾语结构式的语法化渠道与“元”句式语义》(『二重目的語構造の文法化及びメター構文の意味』)《汉语研究的类型学视角》北京语言大学出版社. 345-373.
- 張 婷・陳 保亜 (2018) 《平罗方言“给”字句研究—从“给给给”说起》「平羅方言“给”構文研究—“给给给”からの説明」《现代语文》第4期. 64-74.
- 李 炜 (1978) 《兰州方言给予句中的“给”—兼谈句子给予义的表达》「蘭州方言授与文の“给”—構文の授与義に関する表現を兼ねて」《兰州大学学报》第3期.121-128.